

お米と。あなたと。



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月14日

上場会社名 木徳神糧株式会社 上場取引所 東
コード番号 2700 URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鎌田 慶彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門統括 (氏名) 稲垣 英樹 (TEL) 03-3233-5121
定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月28日
有価証券報告書提出予定日 2025年3月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	118,998	3.6	2,377	15.3	2,485	15.4	1,723	16.6
2023年12月期	114,835	9.7	2,061	56.6	2,153	57.0	1,478	42.4

(注) 包括利益 2024年12月期 2,074百万円(△4.2%) 2023年12月期 2,165百万円(156.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	1,060.68	—	12.3	6.9	2.0
2023年12月期	912.69	—	12.3	7.0	1.8

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 8百万円 2023年12月期 12百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	40,169	15,560	37.3	9,185.20
2023年12月期	32,106	13,390	40.6	8,037.82

(参考) 自己資本 2024年12月期 15,002百万円 2023年12月期 13,022百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	△929	△985	2,861	3,623
2023年12月期	464	△421	149	2,546

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	30.00	—	50.00	80.00	129	8.8	1.1
2024年12月期	—	30.00	—	100.00	130.00	212	12.3	1.5
2025年12月期(予想)	—	30.00	—	100.00	130.00		11.7	

(注) 配当金の内訳

2023年12月期期末 普通配当 30円00銭 特別配当 20円00銭
2024年12月期期末 普通配当 30円00銭 特別配当 70円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	155,000	30.3	2,500	5.2	2,600	4.6	1,800	4.4	1,107.50

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社（社名）キトク・タイランド会社、除外 1社（社名）キトクフーズ株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期	1,706,000株	2023年12月期	1,706,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期	72,706株	2023年12月期	85,813株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	1,625,279株	2023年12月期	1,620,193株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	117,216	13.2	2,130	24.7	2,311	22.2	1,787	35.5
2023年12月期	103,554	7.1	1,708	62.3	1,890	60.5	1,319	43.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	1,100.05		—					
2023年12月期	814.48		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	37,635	13,781	36.6	8,437.93
2023年12月期	29,159	11,847	40.6	7,312.15

(参考) 自己資本 2024年12月期 13,781百万円 2023年12月期 11,847百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
役員の異動(2025年3月27日付予定)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復する一方で、原材料・エネルギー価格高騰の長期化に加え、不安定な世界情勢や金融資本市場の変動リスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する食品流通業界におきましては、人流の回復により需要が堅調に推移しているものの、エネルギーコストの高止まりや相次ぐ食品価格の値上げ等による先行きへの不安から、消費者の節約志向が根強く残る状況が続いております。

このような状況にあって、当社グループは中期3ヵ年計画（2023年～2025年）で掲げる事業拡大に向けた体制再構築の施策として、主力である米穀事業において、安定調達を重視しつつ、機動的且つ独自の調達を推進し競争優位性を高めるとともに、全社的な構造改革を推進しコスト削減に努めてまいりました。

売上高につきましては、米穀事業においてミニマム・アクセス米の販売数量が前年同期と比較して減少しましたが、令和5年産米に続き令和6年産米の需給バランスが大きく崩れ取引価格が上昇したことで118,998百万円（前年同期比3.6%増）となりました。損益面では、得意先への安定供給に努めるとともに適時適切に価格転嫁を進めたこと、鶏卵事業における他事業とのシナジー効果と効率化によるコスト削減等から、営業利益は2,377百万円（前年同期比15.3%増）、経常利益は2,485百万円（前年同期比15.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,723百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

②事業の種類別セグメントの情報

i 米穀事業

令和5年産米の販売において、猛暑と豪雨による収穫量の減少と精米歩留まり悪化で供給にタイト感があるなか、堅調な需要にインバウンドの増加や端境期における災害備蓄の買い急ぎが重なり、店頭から一時的にお米が無くなる状況が発生しました。集荷競争で令和6年産米の取引価格が回りに高騰する状況においても、精米販売が概ね堅調に推移したことから、売上高は96,566百万円（前年同期比5.2%増）となりました。特に強い家庭用の需要に対応すべく新米調達の前倒し等の機動的な調達によって得意先への安定供給に全力を注ぐなか、価格転嫁が進み、営業利益は2,643百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

ii 飼料事業

輸入乾牧草の北海道及び九州エリアにおける販路拡大を戦略的に進めるとともに糟糠類の拡販に注力したことから、売上高は10,331百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は496百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

iii 鶏卵事業

前年同期は鳥インフルエンザの感染拡大による鶏卵不足とそれに伴う鶏卵の平均相場の高騰によって調達・販売ともに厳しい状況でしたが、当期は生産拡大を受けて需給が緩み、鶏卵の平均相場が軟調に推移したことから、売上高は8,736百万円（前年同期比11.0%減）となりました。利益面では、2024年1月1日付で鶏卵事業を営む連結子会社であるキトクフーズ株式会社を吸収合併し、仕入先の複線化を進めるとともに、米穀事業や飼料事業との連携を強化し新たなお客様の開拓と既存顧客との取引拡大、業務効率化によるコスト削減が進んだことから営業利益は274百万円（前年同期比150.5%増）となりました。

iv 食品事業

ヘルスケア商品の販売に苦戦したものの、米菓メーカー向けの加工用原料米販売とコンビニスイーツの原料としての穀粉販売が好調に推移したことで、売上高は3,364百万円（前年同期比5.3%増）となりました。一方、米不足によって原料価格が継続的に上昇するなか販売価格への転嫁が遅れ、営業利益は107百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は40,169百万円となり、前連結会計年度末と比べ8,063百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加額1,100百万円、受取手形及び売掛金の増加額1,771百万円、棚卸資産の増加額3,379百万円、前渡金の増加額630百万円、その他流動資産の増加額681百万円、機械装置及び運搬具の増加額365百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が24,609百万円となり、前連結会計年度末と比べ5,894百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加額1,146百万円、短期借入金の増加額3,912百万円、前受金の増加額1,564百万円等に対し、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少額700百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が15,560百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,169百万円の増加となりました。これは主に資本剰余金の増加額62百万円、利益剰余金の増加額1,655百万円、繰延ヘッジ損益の増加額159百万円、為替換算調整勘定の増加額67百万円、非支配株主持分の増加額189百万円等があったためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,076百万円増加（前年同期比42.3%増）しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動の結果使用した資金は、929百万円（前年同期は464百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,501百万円、仕入債務の増加1,141百万円、その他の流動負債の増加1,713百万円等に対し、売上債権の増加1,723百万円、棚卸資産の増加3,253百万円、その他の流動資産の増加936百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動の結果使用した資金は、985百万円（前年同期比133.6%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出803百万円、有価証券の増加117百万円等があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動の結果獲得した資金は、2,861百万円（前年同期比1,813.6%増）となりました。これは主に自己株式の取得による支出131百万円等に対し、短期借入金の増加3,874百万円等があったためであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率 (%)	31.5	34.6	37.5	40.6	37.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	18.6	19.2	23.6	27.5	22.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	17.9	16.3	2.2	21.2	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	11.6	12.6	66.0	5.6	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、各国経済に緩やかな持ち直しの動きが見られる反面、長期化するロシアによるウクライナ侵攻の影響で原材料やエネルギー価格が高止まり、食品業界に大きく影響を与えています。国内では人口減少と少子高齢化の進行による市場規模の縮小や実質賃金の減少による個人消費の弱さが続くとともに、当社グループのコアである米穀事業においては、猛暑等を要因とした品質低下による精米歩留りの悪化や収量減少による原料調達難の継続が予見される厳しい状況にあります。

これらの状況を踏まえた上で、2025年12月期連結会計年度の業績見通しにつきましては、米穀取引価格の高騰に伴う売上原価の上昇と、販売価格への転嫁による売上高の大幅な増加を見込んでおります。費用については物流に係るコスト上昇の影響による諸経費の増加と、製造設備の更新への投資、教育研修の充実やベースアップ等の成長の土台となる体制整備のための人的資本への投資を計画しておりますが、調達に注力し、強いニーズ対して安定供給を図りながら適切に価格転嫁を進めることで、売上高は155,000百万円、営業利益は2,500百万円、経常利益は2,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,800百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を鑑みて、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,549,563	3,650,342
受取手形及び売掛金	9,926,980	11,698,419
商品及び製品	2,563,570	3,541,083
仕掛品	271,293	535,625
原材料及び貯蔵品	3,970,704	6,108,440
前渡金	2,851,833	3,482,753
未収入金	436,676	381,231
その他	150,454	832,031
貸倒引当金	△272	△356
流動資産合計	22,720,805	30,229,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,170,508	6,295,957
減価償却累計額	△4,733,765	△4,849,858
建物及び構築物(純額)	1,436,742	1,446,098
機械装置及び運搬具	6,387,589	7,048,357
減価償却累計額	△5,163,317	△5,458,534
機械装置及び運搬具(純額)	1,224,271	1,589,822
土地	2,073,423	2,073,423
リース資産	126,600	130,420
減価償却累計額	△85,352	△110,650
リース資産(純額)	41,247	19,769
その他	278,785	283,444
減価償却累計額	△246,579	△251,126
その他(純額)	32,206	32,317
有形固定資産合計	4,807,891	5,161,431
無形固定資産		
ソフトウェア	52,535	49,836
リース資産	26,233	10,567
その他	27,827	22,525
無形固定資産合計	106,596	82,930
投資その他の資産		
投資有価証券	4,091,736	4,179,155
長期前払費用	18,401	149,466
繰延税金資産	1,249	702
差入保証金	338,216	343,668
その他	21,508	23,850
貸倒引当金	△265	△942
投資その他の資産合計	4,470,847	4,695,901
固定資産合計	9,385,335	9,940,263
資産合計	32,106,141	40,169,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,405,726	6,551,770
短期借入金	4,616,768	8,528,908
1年内返済予定の長期借入金	2,608,420	2,518,785
リース債務	43,063	13,260
未払金	1,357,022	1,532,307
未払法人税等	420,832	535,503
前受金	18,172	1,582,805
賞与引当金	187,227	282,287
役員賞与引当金	—	23,900
その他	674,916	424,082
流動負債合計	15,332,150	21,993,611
固定負債		
長期借入金	2,641,085	2,030,300
リース債務	24,418	17,076
繰延税金負債	385,737	353,346
役員退職慰労引当金	228,664	123,662
資産除去債務	78,846	79,160
その他	24,327	12,632
固定負債合計	3,383,079	2,616,179
負債合計	18,715,229	24,609,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	380,174	442,510
利益剰余金	11,476,306	13,132,248
自己株式	△288,970	△281,105
株主資本合計	12,097,010	13,823,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960,009	985,630
繰延ヘッジ損益	△61,475	98,396
為替換算調整勘定	27,224	94,958
その他の包括利益累計額合計	925,759	1,178,985
非支配株主持分	368,142	557,904
純資産合計	13,390,911	15,560,043
負債純資産合計	32,106,141	40,169,834

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	114,835,144	118,998,507
売上原価	106,765,228	109,968,340
売上総利益	8,069,915	9,030,167
販売費及び一般管理費	6,008,048	6,653,095
営業利益	2,061,867	2,377,071
営業外収益		
受取利息	2,415	4,744
受取配当金	161,685	163,468
受取保険金	29,904	23,225
持分法による投資利益	12,654	8,306
不動産賃貸料	30,265	34,455
貸倒引当金戻入額	9,060	—
その他	44,461	72,320
営業外収益合計	290,446	306,521
営業外費用		
支払利息	81,303	69,461
不動産賃貸費用	6,158	5,160
為替差損	54,730	61,594
工場閉鎖後費用	28,914	—
遊休資産諸費用	—	34,346
その他	27,281	27,870
営業外費用合計	198,387	198,433
経常利益	2,153,926	2,485,160
特別利益		
固定資産売却益	2,821	2,114
投資有価証券売却益	13	—
残余財産分配金	—	19,444
受取立退料	19,461	—
特別利益合計	22,295	21,559
特別損失		
固定資産売却損	—	3,265
固定資産除却損	7,350	835
投資有価証券評価損	20,120	74
工場閉鎖損失	41,554	—
リース解約損	—	1,301
特別損失合計	69,025	5,475
税金等調整前当期純利益	2,107,196	2,501,243
法人税、住民税及び事業税	614,557	826,154
法人税等調整額	△33,448	△115,010
法人税等合計	581,109	711,143
当期純利益	1,526,087	1,790,099
非支配株主に帰属する当期純利益	47,352	66,193
親会社株主に帰属する当期純利益	1,478,735	1,723,905

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	1,526,087	1,790,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	396,045	25,620
繰延ヘッジ損益	207,358	159,871
為替換算調整勘定	35,552	98,440
その他の包括利益合計	638,956	283,932
包括利益	2,165,043	2,074,032
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,103,711	1,965,703
非支配株主に係る包括利益	61,332	108,328

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	529,500	380,174	10,102,883	△288,899	10,723,659
当期変動額					
剰余金の配当			△105,312		△105,312
親会社株主に帰属する当期純利益			1,478,735		1,478,735
自己株式の取得				△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,373,422	△70	1,373,351
当期末残高	529,500	380,174	11,476,306	△288,970	12,097,010

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	563,964	△268,833	5,652	300,783	313,318	11,337,760
当期変動額						
剰余金の配当						△105,312
親会社株主に帰属する当期純利益						1,478,735
自己株式の取得						△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	396,045	207,358	21,572	624,976	54,823	679,799
当期変動額合計	396,045	207,358	21,572	624,976	54,823	2,053,151
当期末残高	960,009	△61,475	27,224	925,759	368,142	13,390,911

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	529,500	380,174	11,476,306	△288,970	12,097,010
当期変動額					
剰余金の配当			△129,737		△129,737
親会社株主に帰属する当期純利益			1,723,905		1,723,905
自己株式の取得				△131,752	△131,752
自己株式の処分		66,608		139,616	206,225
連結範囲の変動		△4,272	61,774		57,502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	62,336	1,655,942	7,864	1,726,143
当期末残高	529,500	442,510	13,132,248	△281,105	13,823,153

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	960,009	△61,475	27,224	925,759	368,142	13,390,911
当期変動額						
剰余金の配当						△129,737
親会社株主に帰属する当期純利益						1,723,905
自己株式の取得						△131,752
自己株式の処分						206,225
連結範囲の変動						57,502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,620	159,871	67,734	253,226	189,762	442,988
当期変動額合計	25,620	159,871	67,734	253,226	189,762	2,169,131
当期末残高	985,630	98,396	94,958	1,178,985	557,904	15,560,043

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,107,196	2,501,243
減価償却費	525,917	522,820
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,024	△192
賞与引当金の増減額 (△は減少)	157	95,059
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	23,900
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	64,514	△105,002
受取利息及び受取配当金	△164,101	△168,213
支払利息	81,303	69,461
持分法による投資損益 (△は益)	△12,654	△8,306
固定資産売却損益 (△は益)	△2,821	1,150
固定資産除却損	7,350	835
投資有価証券評価損益 (△は益)	20,120	74
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	—
工場閉鎖損失	41,554	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,027,620	△1,723,817
棚卸資産の増減額 (△は増加)	719,791	△3,253,295
仕入債務の増減額 (△は減少)	549,226	1,141,647
未払消費税等の増減額 (△は減少)	244,584	△245,254
未収入金の増減額 (△は増加)	246,439	63,664
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,984,908	△936,885
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△459,468	1,713,180
その他	△29,459	△16,968
小計	918,083	△324,899
利息及び配当金の受取額	135,317	139,345
利息の支払額	△82,954	△72,637
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△529,690	△700,997
その他	24,106	29,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	464,862	△929,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の増減額 (△は増加)	—	△117,885
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,237	3,192
有形固定資産の取得による支出	△298,916	△803,727
有形固定資産の売却による収入	2,821	2,389
無形固定資産の取得による支出	△12,219	△19,492
投資有価証券の取得による支出	△111,699	△52,988
投資有価証券の売却による収入	43	—
出資金の払込による支出	△5	—
貸付けによる支出	△400	△1,825
貸付金の回収による収入	310	772
その他	420	4,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△421,883	△985,506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	344,968	3,874,115
長期借入れによる収入	2,500,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,542,955	△2,700,420
リース債務の返済による支出	△40,598	△43,801
自己株式の取得による支出	△70	△131,752
配当金の支払額	△105,312	△129,737
非支配株主への配当金の支払額	△6,508	△7,120
その他	—	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	149,522	2,861,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,759	40,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203,261	986,398
現金及び現金同等物の期首残高	2,342,909	2,546,171
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	90,586
現金及び現金同等物の期末残高	2,546,171	3,623,156

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製商品別の事業部門を置き、各事業部門は、連結子会社も含め取り扱う製商品について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは主に事業部門及び連結子会社を基礎とした製商品別のセグメントから構成されており、「米穀事業」、「飼料事業」、「鶏卵事業」及び「食品事業」の4つを報告セグメントとしております。

報告セグメント	主要な製品・商品
米穀事業	業務用精米、家庭用精米、玄米、ミニマム・アクセス米、加工米飯用米等
飼料事業	飼料、飼料原料等
鶏卵事業	家庭用卵、業務用卵、鶏卵加工品等
食品事業	米粉、加工食品、たんぱく質調整米、小麦粉等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	米穀事業	飼料事業	鶏卵事業	食品事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	91,817,696	10,007,521	9,815,721	3,194,204	114,835,144	—	114,835,144
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	705,659	1,191	361	37,304	744,517	△744,517	—
計	92,523,356	10,008,713	9,816,083	3,231,508	115,579,662	△744,517	114,835,144
セグメント利益	2,382,453	493,329	109,583	124,489	3,109,855	△1,047,988	2,061,867
セグメント資産	19,681,749	2,352,157	1,522,097	1,921,401	25,477,406	6,628,734	32,106,141
その他の項目							
(1) 減価償却費	442,013	—	9,243	5,588	456,846	69,071	525,917
(2) 持分法適用会社への投資額	—	—	—	3,724	3,724	—	3,724
(3) 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	249,263	—	3,433	8,596	261,293	36,006	297,300

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△1,047,988千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,055,392千円、セグメント間取引消去7,403千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額6,628,734千円は、各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグ

メントに帰属しない余資運用資金（現金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）、本社土地建物及び管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	米穀事業	飼料事業	鶏卵事業	食品事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	96,566,899	10,331,180	8,736,019	3,364,407	118,998,507	—	118,998,507
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	680,131	469	—	35,194	715,795	△715,795	—
計	97,247,030	10,331,650	8,736,019	3,399,602	119,714,302	△715,795	118,998,507
セグメント利益	2,643,137	496,969	274,476	107,385	3,521,968	△1,144,897	2,377,071
セグメント資産	25,844,425	2,075,994	1,000,414	1,939,136	30,859,970	9,309,864	40,169,834
その他の項目							
(1) 減価償却費	434,986	—	7,456	5,848	448,291	74,528	522,820
(2) 持分法適用会社への投資額	—	—	—	3,724	3,724	—	3,724
(3) 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	843,411	—	4,983	2,238	850,634	33,764	884,398

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△1,144,897千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額9,309,864千円は、各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）、本社土地建物及び管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本デリカフーズ協同組合	16,642,892	米穀事業
農林水産省	13,688,351	米穀事業
株式会社イトーヨーカ堂	7,728,292	米穀事業、鶏卵事業

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本デリカフーズ協同組合	17,667,927	米穀事業
農林水産省	8,825,878	米穀事業
株式会社イトーヨーカ堂	8,452,163	米穀事業、鶏卵事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	8,037円82銭	9,185円20銭
1株当たり当期純利益金額	912円69銭	1,060円68銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,478,735	1,723,905
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	1,478,735	1,723,905
期中平均株式数(株)	1,620,193	1,625,279

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動 (2025年3月27日付予定)

役員の異動につきましては、2025年1月28日公表の「役員等の異動に関するお知らせ」をご覧ください。